

2025年2月20日

2社の「SDGs宣言」策定を支援

～地元企業のサステナビリティ経営をサポート～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、取引先2社の「SDGs宣言」策定を支援いたしましたので、お知らせします。

当行では、2021年10月より、地元企業の皆さまのサステナビリティ経営をサポートする伴走型サービスとして「むさしのSDGsコンサルティング」の取扱いを行っており、本件はこれに基づく「SDGs宣言」策定となります。

当行は今後も持続可能な地域経済および社会の実現に向け、お客さまのサステナビリティ経営の取組み支援などに注力してまいります。

《「SDGs宣言」策定企業》

- (1) 株式会社 ジェー・イー・シー
- (2) 株式会社 山中建材

以 上

報道機関からのお問い合わせ先
法人コンサルティング部 コンサルティング営業室 細川 朝之
TEL (048) 641 - 6111 (代)



《SDGs 宣言策定企業の概要》（各社の宣言内容の詳細は別紙を参照ください。）

企 業 名	株式会社 ジェー・イー・シー	株式会社 山中建材
代 表 者	代表取締役 落合 順一	代表取締役 山中 紳五
所 在 地	埼玉県入間郡三芳町上富 5 3 9 - 2	埼玉県秩父市大野原 2 2 6 3 - 2
業 種 お よ び 事 業 内 容	・めっき設備の設計・製作 ・排水処理設備の設計・製作 ・テープマスキング装置の設計・製作 ・各種設備のメンテナンス・改造 ・各種機器類の販売	・建設業 （屋根工事・外壁工事・金属工事・内装工事）
設 立	2 0 0 5 年 8 月 1 5 日	1 9 9 2 年 1 1 月 1 7 日
宣 言 内 容	・『想像力』と『行動力』でより良い社会の実現に貢献する ・働きがい向上に関する制度を導入しすべての従業員が幸せな会社を目指す ・ものづくりの責任として環境や社会にやさしい会社を目指す	・地域の建設会社として、地震や災害に強いまちを実現していく ・働きがいを高める制度を導入し、安全で明るい職場をつくる ・地域貢献や環境のために新しい事にチャレンジしていく



株式会社ジェー・イー・シー SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 落合 順一

SDGsの達成に向けた取り組み

『想像力』と『行動力』でより良い社会の実現に貢献する

○当社は三芳町を拠点とし、2005年の設立以来、電子部品向けの特種なめつき製造ライン（フープめつき※）の設計、製作を行っております。

○今後も、企業理念である、『想像力』と『行動力』で、ニーズを力強く拓いていく』をミッションとして、事業を通じて様々な社会課題の解決に貢献していきます。

○そのため、新しい技術に関するキャッチアップへの努力を重ね、新規取引先の開拓も行っています。

（※）フープめつきとは、長い帯形状の加工対象に連続・高速でめつきする方法です。ロール状に丸められた金属材料やリールに巻かれた加工対象を、引き出しながらめつき工程を連続的に通過させ、再び巻き取って完成させます。別名「リールtoリールめつき」や「連続めつき」とも呼ばれています。

【指標】

新しい技術に関する勉強会等の開催数 2024年 2回/年 ⇒ 2030年 10回/年 (+8回/年)
新規取引先の開拓 ⇒ 2030年 累計10社
街の美化活動 全員参加 4回/年 ⇒ 2030年 12回/年 (+8回/年)



働きがい向上に関する制度を導入しすべての従業員が幸せな会社を目指す

○従業員の健康や働きがい第一であることから、従業員の健康管理を応援していくほか、様々な職場環境の改善も実施していきます。

○具体的には、新たな休暇制度の導入、福利厚生制度の充実化、作業環境の改善、社内活動の充実化、他を順次行っています。

○また、今後も地域からの新規採用に力を入れていくほか、女性も積極的に採用していきます。

【指標】

従業員の職場環境改善、健康、働きがいを意識した制度の導入数 ⇒ 2030年 累計 5件



ものづくりの責任として環境や社会にやさしい会社を目指す

○各種の環境に配慮した取り組み（資材や備品等の使用量削減、産業廃棄物の廃棄量削減、他）を行っていくことで、会社全体でのCO2排出量を削減していきます。

○多発する災害へ備えるため、BCP（事業継続計画）の実効性を高めるとともに、従業員の安全対策も実施していきます。

【指標】

従業員資材や備品等の使用量削減や廃棄量削減に向けた取り組みの数
⇒ 2030年 累計 5件





2025年2月6日

株式会社 山中建材 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 山中 紳五

SDGsの達成に向けた取り組み

地域の建設会社として、地震や災害に強いまちを実現していく

- 当社は創業以来40年以上にわたり、秩父市を拠点として、屋根工事や内外装工事、金属工事等を行ってきました。
- 工事に関するコンサルティングを強みとし、お客様の満足を第一に考え、日々業務を行っています。
- 今後も、地域の建設会社として、地震や災害に強いまちを実現するために、地域の方に様々な貢献（ソーラー発電システム、一時的な避難所、発電機、他）を行っていきます。



【指標】

災害時に地域の方に貢献できる備えの数 2024年 1件 ⇒ 2030年 6件 (+5件)

働きがい高める制度を導入し、安全で明るい職場をつくる

- 従業員の健康が第一であることから、従業員の健康管理を応援していくほか、作業現場での安全対策も徹底していきます。
- 働きがい高める制度を充実させ（高齢者の積極的な雇用、新しい休暇制度、福利厚生、社内レク、他）、更に従業員が幸せな会社を目指します。
- また、従業員のスキルアップのため、資格取得の支援（講習費、実費、他）を継続していくほか、ベテランが若手に技術指導を行うことで、技術の承継と研鑽を続けていきます。



【指標】

働きがいのある職場や多様な働き方に関する制度の導入数 ⇒ 2030年 導入 5件

地域貢献や環境のために新しい事にチャレンジしていく

- 会社全体としてCO2排出量の削減（ソーラー発電システム、充電プラグ、LED照明化、他）に、順次取り組んでいきます。
- 資材や廃棄物のリサイクルを徹底していくほか、社内のペーパーレス化も進めていきます。
- 地域社会への貢献（地域住民相談所、行政、自治会、他）を継続していくほか、創業以来、お世話になっている地域の中で、日本伝統文化の承継（若者たちへの古武道の伝承指導『秩父武山會（※）』）も行っていきます。



【指標】

CO2排出量削減に向けた取り組みの数 2024年 1件 ⇒ 2030年 6件 (+5件)

※秩父武山會とは、古武道、居合抜刀道の伝承・稽古・所作・指導、研究、保存発展を目的に活動する団体です。同社代表が会長を務め、各社寺奉納演武、各団体での大会に参加しており、日本国内だけではなく、海外でも数多くの門下生達を稽古指導しています。

